




注 記

1. 特記なき配管配線は下記とする。 (備考④) (屋内露出部/屋外露出部)
C 空配管 (呼称 1, 2mm) (PF22) (E25) (G22)
C PF28 空配管 (呼称 1, 2mm) (PF28) (E31) (Q28)

2. MA はメタルメタル(A型)保護を示す。

3. 情報傍記 (L, M, K, G, C) は 1階配管配線表を参照とする。


4. 電話・情報機器及び、配線、モジュラージャックは別途工事とする。
(空配管は本工事)



5. OAフロアの破線シンボル  は、OAフロアよりケーブルを引出しをし、必要に応じて上げるものとする。(別途工事)

6. 立上ダクトはAH-W400×D200×H天井高とし、鋼板張・標準色塗装とする。(天井高についてはE-65~69図面参照)

7. 特記なきフリップボックスサイズは下記とする。
(傍記WFは防水型SUS製とする)

屋内露出部は鋼板張(止り止め塗装)とする。

 abc 傍記 abc = ax100, bx100, cx100

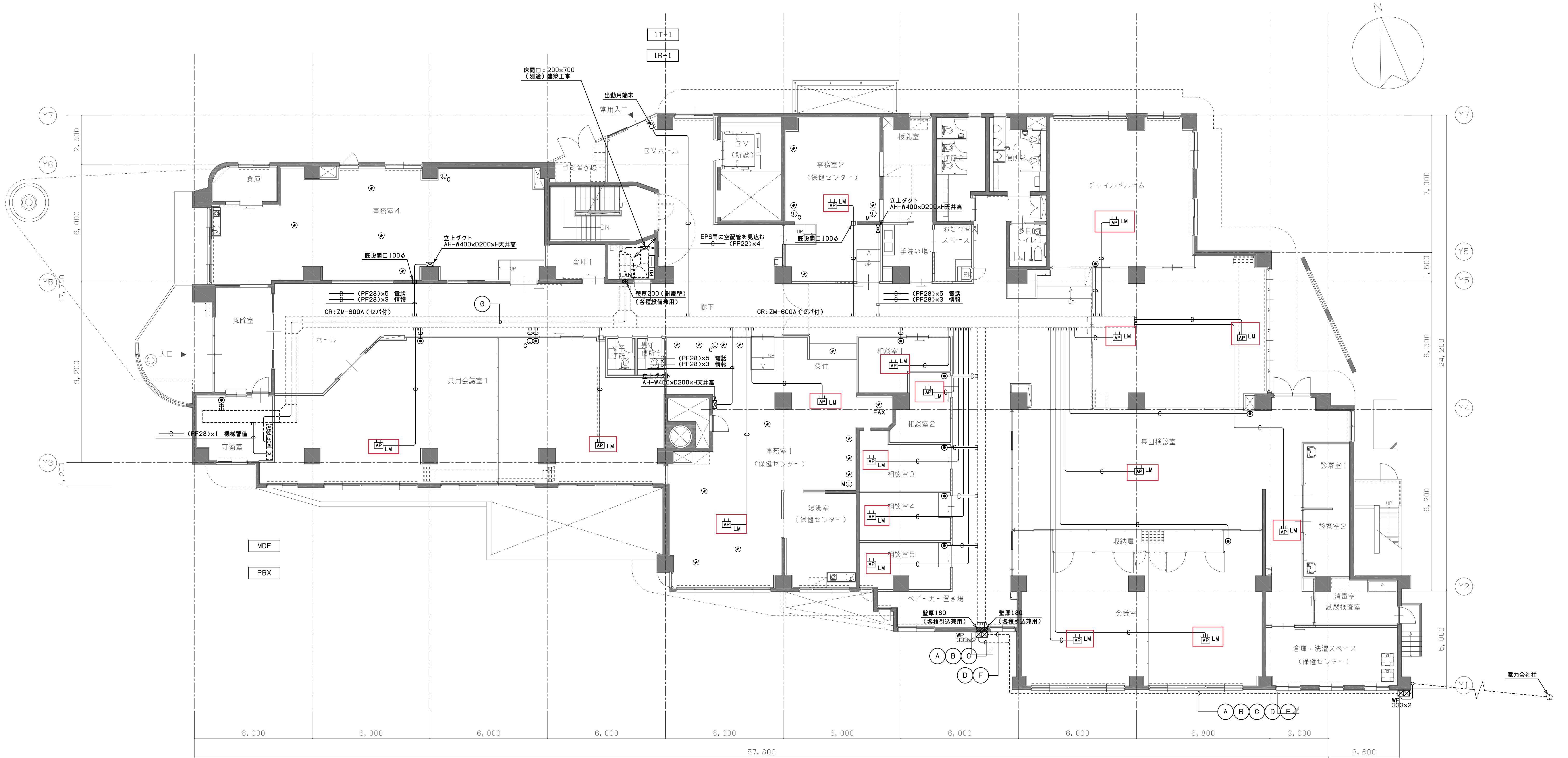
例 :  221 200×200×100
 151 150×150×100

8. OAフロアにて設ける立上ダクトは鋼板張・標準色塗装とする。
AH-W400×D200×H天井高 (天井高についてはE-65~69図面参照)

9. 防火区画の壁に付けるボックス及び貫通する配管は防火遮断大臣認定の耐火処理を施すこと。
(防火区画面図E-63図面参照)

10. 防火貫通は鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しない位置で貫通を行う。

年 度	令和 5 年 度				
工事名	和泉市庁舎第1分館改修電気設備工事				
図面名	弱電設備（1） （構内情報通信網・構内交換）B1階平面図			番 号	E-40
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200				
設計年度	令和5年度	和泉市			



配管配線表

記 号	名 称	屋外露出
A	LGWAN系 (L)	(G70)
	マイナンバー系 (M)	
	校務系 (K)	
B	GIGA系 (G)	
C	インターネット系 (C)	(G70)
	(3系統)	
D	電話 (FAX)	(G70)
	予備	
	予備	
F	機械管備	(G28)
G	EV遠隔監視 EM-F0PEE1, 2-1Pr	

凡 例

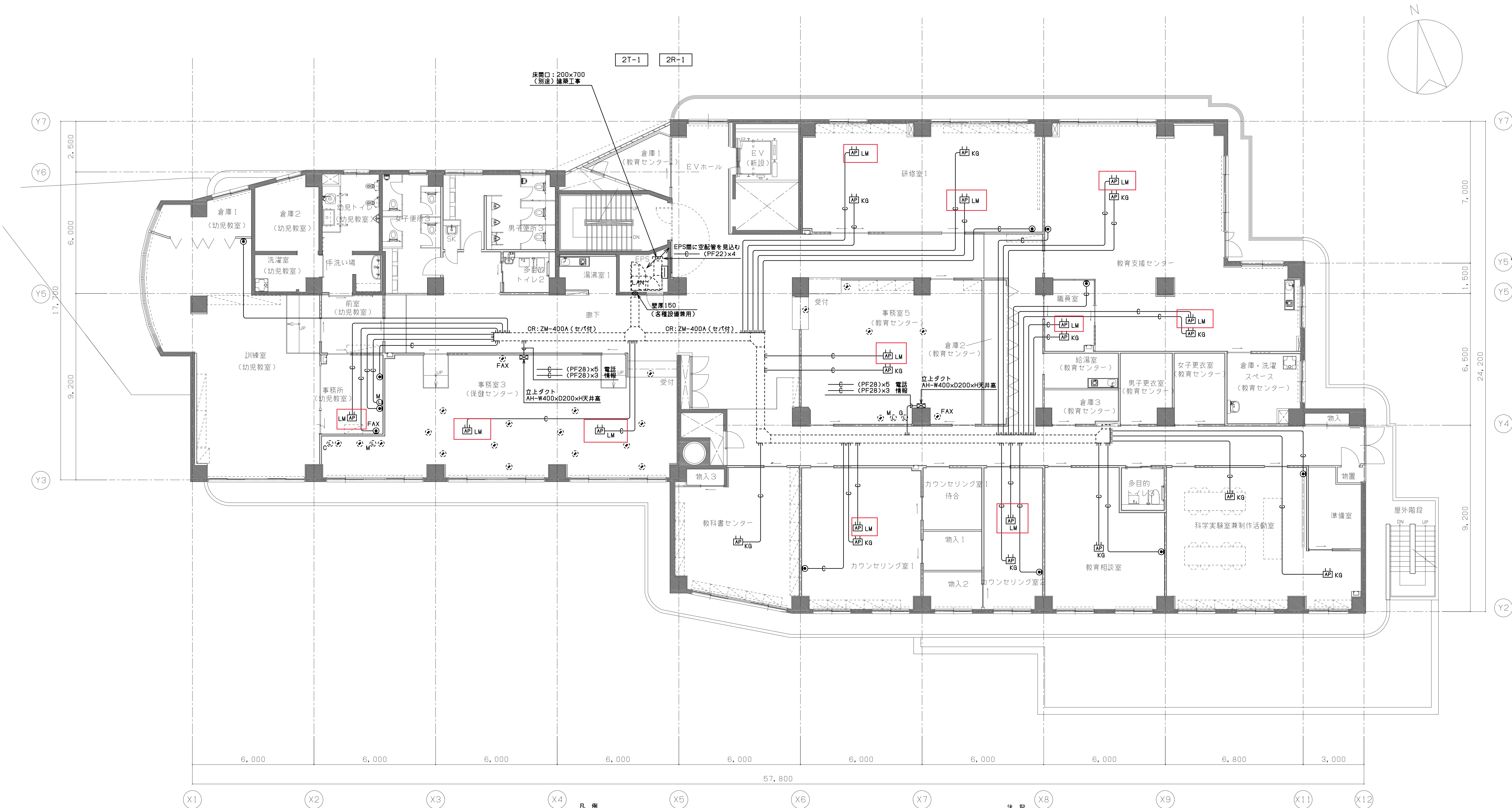
記 号	名 称	仕 様	記 号	名 称	仕 様
[]	端子盤		[] LM	無線アクセスポイント	LG系マイナンバー系
[MDF]	本配線盤		[] KG	無線アクセスポイント	校務系GIGA系
[PBX]	電話主装置	〈別途工事〉	[] K	機械管備制御機器	〈別途〉機械管備工事
[]	電話用アウトレットボックス	ブラックチップ止め	[]	立上げ・立下げ	
[FAX]	FAX用アウトレットボックス	ブラックチップ止め	[]	ブルボックス	
[]	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉	[]	ケーブルラック	破線は強電設備と兼用とする
[PD]	光末端箱収納盤		[]	RC壁貫通	
[] LAN	19インチラック	〈別途工事〉	[]	配管エンドを示す	
[]	※情報機器はフロアラックに納める。		[]	二重天井内をがし配線	
[]	情報用アウトレットボックス	ブラックチップ止め	[]	天井隠ぺい配管配線	隠ぺい：P F 管
[]	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉	[]	露出配管配線	屋内：E 管，屋外：G 管

注 記






- 特記なき配管配線は下記とする。(隠ぺい) (屋内露出) (屋外露出)
— 〇 — 空配管 (呼線1, 2mm) (PF22) (E25) (G22)
— 〇 — (PF28) 空配管 (呼線1, 2mm) (PF28) (E31) (G28)
- MA はメタルモール(A型)保護を示す。
- 情報傍記 (L, M, K, G, C) は1階配管配線表を参照とする。
- 電話・情報機器及び、配線、モジュラージャックは別途工事とする。
(空配管は本工事)
- OAフロアの破線シンボル [] は、OAフロアよりケーブル直引出しを示し、必要ヶ所に立上げるものとする。(別途工事)
- 立上ダクトはAH-W400xD200xH天井高とし、鋼板製・標準色塗装とする。(天井高についてはE-65~69図参照)
- 特記なきブルボックスサイズは下記とする。
(傍記WPは防水型SUS製とする)
屋外露出部は鋼板製(サビ止め塗装)とする。
[] abc 傍記abc=ax100, bx100, cx100
例 : [] 221 200x200x100
例外 : [] 151 150x150x100

8. OAフロアに設ける立上ダクトは鋼板製・標準色塗装とする。
AH-W400xD200xH天井高 (天井高についてはE-65~69図参照)
9. 防火区画の壁に取付けるボックス類及び貫通する配管は国土交通大臣認定の耐火処理を施すこと。
(防火区画図面E-63図参照)
10. RC壁貫通は鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しない位置で壁貫通を行う。
なお、新築壁を貫通する部分については、鉄筋とのかぶり厚30mmを確保する。

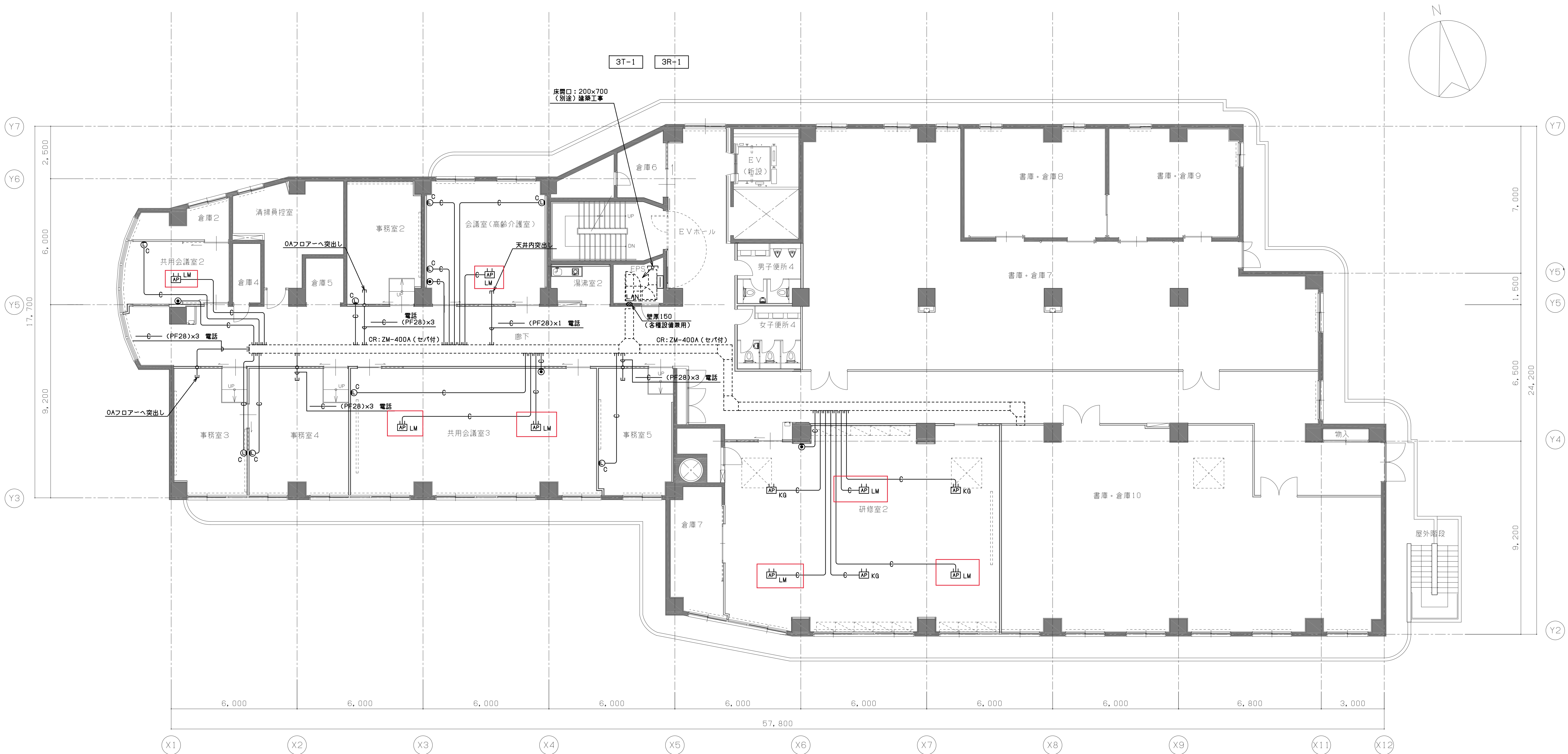
年 度	令 和 5 年 度		
工事名	和泉市庁舎第1分館改修電気設備工事		
図面名	弱電設備（1） （構内情報通信網、構内交換）1階平面図		番 号
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200		
設計年度	令和5年度	和泉市	



凡 例					
記 号	名 称	仕 様	記 号	名 称	仕 様
	牆子壁			無線アクセスポイント	LG製マイナンバー系
	本配線盤			無線アクセスポイント	校務兼GIGA系
	電話主装置	〈別途工事〉		機械管制御機器	〈別途〉機械管備工
	電話用アウトレットボックス	ブラックチップ止め		立上げ・立下げ	
	FAX用アウトレットボックス	ブラックチップ止め		プルボックス	
	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉		ケーブルラック	破線は強電設備と兼用とする
	光配線箱収納盤			RC壁貫通	
	19インチラック	〈別途工事〉		配管エンドを示す	
	※情報機器はフロアラックに納める。			二重天井内こがし配線	
	情報用アウトレットボックス	ブラックチップ止め		天井隠ぺい配管配線	隠ぺい：P F 管
	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉		露出配管配線	屋内：E 管、屋外：G 管

注 記	(X8)	(X9)	(X11)	(X12)
1. 特記なき配管配線は下記とする。		(隠ぺい) (屋内露出) (屋外露出)		
—C—	空配管 (呼線 1, 2mm)	(PF22) (E25) (G22)	(傍記 WP は防水型 SUS 製とする)	
—C—	(PF28) 空配管 (呼線 1, 2mm)	(PF28) (E31) (G28)	屋内露出部は鋼板製 (サビ止め塗装) とする。	
2. —MA—	はメタルモール (A型) 保護を示す。			
3. 情報傍記 (L, M, K, G, C)	は 1階配管配線表を参照とする。			
4. 電話・情報機器及び、配線、モジュラージャックは別途工事とする。				
(空配管は本工事)				
5. OAフロアの破線シンボル   は、OAフロアよりケーブル直引出しを示し、必要ヶ所に立上げるものとする。(別途工事)				
6. 立上ダクトは AH-W400xD200xH 天井高とし、鋼板製・標準色塗装とする。(天井高については E-65~69 図参照)				
7. 特記なきプルボックスサイズは下記とする。				
	(傍記 WP は防水型 SUS 製とする)			
	屋内露出部は鋼板製 (サビ止め塗装) とする。			
 abc	傍記 abc = a x 100, b x 100, c x 100			
	例 :  221 200 x 200 x 100			
	例外 :  151 150 x 150 x 100			
8. OAフロアに設ける立上ダクトは鋼板製・標準色塗装とする。	AH-W400xD200xH 天井高 (天井高については E-65~69 図参照)			
9. 防火区画の壁に取付けるボックス類及び貫通する配管は国土交通大臣認定の耐火処理を施すこと。 (防火区画面図 E-63 図参照)				
10. RC 壁貫通は鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しない位置で壁貫通を行う。				

年 度	令 和 5 年 度			
工事名	和泉市庁舎第 1 分館改修電気設備工事			
図面名	弱電設備（１） （構内情報通信網、構内交換）2階平面図		番 号	E-42
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200			
設計年度	令和 5 年度	和泉市		



凡 例		
記 号	名 称	仕 様
	天井壁	
	木配線壁	
	電話主装置	〈別途工事〉
	電話用アウトレットボックス	ブラックチップ止め
	FAX用アウトレットボックス	ブラックチップ止め
	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉
	光末端箱収納壁	
	19インチラック	〈別途工事〉
※情報機器はフロアラックに納める。		
	情報用アウトレットボックス	ブラックチップ止め
	OAフロアケーブル直引出し	〈別途工事〉
	無線アクセスポイント	LG兼マイナンバー系
	無線アクセスポイント	校務兼GIGA系
	機械管備制御機器	〈別途〉機械管備工事
	立上げ・立下げ	
	プルボックス	
	ケーブルラック	破線は強電設備と兼用とする
	RC壁貫通	
	配管エンドを示す	
	二重天井内こしがし配線	
	天井隠ぺい配管配線	隠ぺい：P F 管
	露出配管配線	屋内：E 管，屋外：G 管

- 注 記
- 特記なき配管配線は下記とする。(隠ぺい) (屋内露出) (屋外露出)
— 〃 — 空配管 (呼線 1.2mm) (PF22) (E25) (G22)
— 〃 — 空配管 (呼線 1.2mm) (PF28) (E31) (G28)
 - MA はメタルモール (A型) 保護を示す。
 - 情報傍記 (L, M, K, G, O) は 1階配管配線表を参照とする。
 - 電話・情報機器及び、配線、モジュラージャックは別途工事とする。
(空配管は本工事)
 - OAフロアの破線シンボル (〇) は、OAフロアよりケーブル直引出しを示し、必要ヶ所に立上げるものとする。(別途工事)
 - 立上ダクトは AH-W400xD200xH天井高とし、鋼板製・標準色塗装とする。(天井高については E-65~69 図参照)
 - 特記なきプルボックスサイズは下記とする。
(傍記 WP は防水型 SUS 製とする)
屋内露出部は鋼板製 (サビ止め塗装) とする。
例 : 〇221 200x200x100
例外 : 〇151 150x150x100
 - OAフロアに設ける立上ダクトは鋼板製・標準色塗装とする。
AH-W400xD200xH天井高 (天井高については E-65~69 図参照)
 - 防火区画の壁に取付けるボックス類及び貫通する配管は国土交通大臣認定の耐火処理を施すこと。
(防火区画図面 E-63 図参照)
 - RC 壁貫通は鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しない位置で壁貫通を行う。

年 度	令 和 5 年 度		
工事名	和泉市庁舎第 1 分館改修電気設備工事		
図面名	弱電設備 (1) (構内情報通信網、構内交換) 3階平面図	番 号	E-43
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200		
設計年度	令和 5 年度	和泉市	